

取扱説明書 Ver 1.01

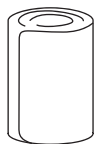
SD-507 IV

ドックドーム Pro.6 アイボリー



このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品はキャンプ用テントです。安全にご使用いただくためにも必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品には万全を期しておりますが、フィールドでご使用する前に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。説明内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

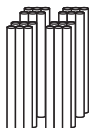
■ 各部の名称



フライシート×1
インナーテント×1



ルーフシート×1



本体
フレーム×4



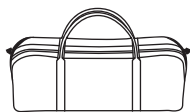
前室
フレーム×1



ジュラピン
ペグ×20



自在付ロープ
2.5m×6、2.0m×2



キャリーバッグ×1



フレーム
ケース×1



ペグ
ケース×1



リペア
パイプ×1



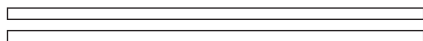
シームグリップ剤×1



取説冊子(本書)×1

セット内容は一般的な条件下での設営を基本としたものです。頑丈で長めのペグや、ロープなどを用意されると、柔軟な対応が可能となります。ペグやロープ、自在などは消耗品ですので、常に予備を携行することをお勧めします。

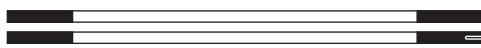
● フレーム構成



本体フレームA(短)×2



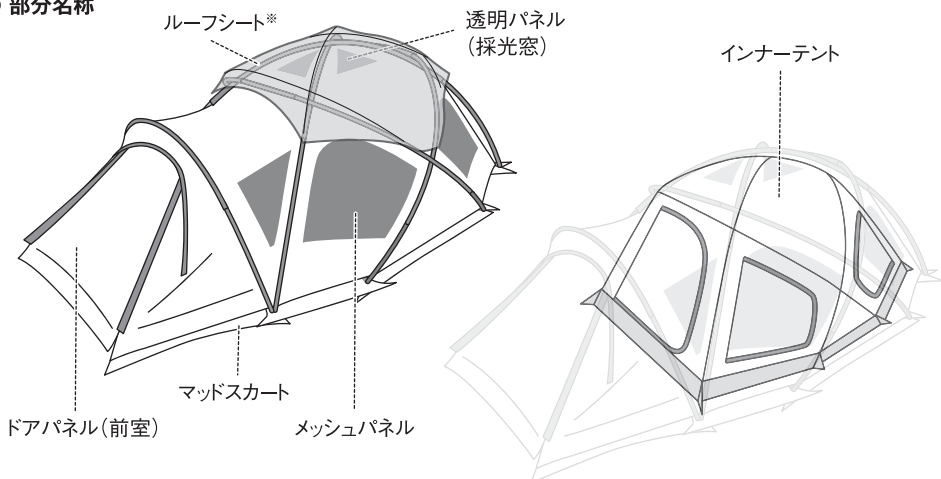
前室フレーム×1



本体フレームB(長)×2

先端が青

● 部分名称



※シールド加工は施してありません。

ご使用前に よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

取扱上の注意

⚠ 危険 明らかに生命にかかわる重大な事故が予測される行為を示します。

- このテントの素材は難燃性ではありません。テント内では燃烧式のランタンやコンロ、ヒーターなどの熱源や、マッチ、ローソク、ライター、タバコなどの裸火や炎は絶対に使用しないでください。限られた空間での火気の使用は火災の恐れがあり大変危険です。
- テント内で燃料を保管したり、燃料を補給するなど、引火性のあるものを持ち込まないでください。



⚠ 警告 場合により重大な事故に至る行為を示します。

- 気象状況には常に細心の注意を払い、風の強いときや悪天候が予想されるときは速やかにキャンプを中止して安全な場所へ避難してください。
- 高温に加熱されたものや発熱性のあるものを持ち込まないでください。天候によりテント内は高温になり、熱中症などの危険があります。お子様の昼寝の際など、最新の注意を払ってください。
- 風の吹き抜けるような場所や、雪崩、がけ崩れ、急な出水などの恐れのない地盤のしっかりとした、水はけの良い平坦な場所を選んで設営してください。



⚠ 注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大損害の原因となる行為を示します。

- 本製品は常設用ではありません。
- 日差しによりフライシート表面は低温やけどに発展するほどの高温になります。十分ご注意ください。
- たき火や花火などのそばで組み立てたり、使用しないでください。火の粉を被り、生地に穴を開けてしまう場合があります。
- テントの設営・撤収の際は、風に飛ばされないようフレームをしっかりと支えて作業してください。フレーム先端のハネ返しなどと思わぬ事故に繋がる恐れがありますので必ず周囲の安全を確認してください。
- ベグや張り綱でしっかりと固定して使用してください。
- テント素材は長時間日光にさらされた場合、退色や生地劣化などの強度低下を起しますので、常設用として使用しないでください。

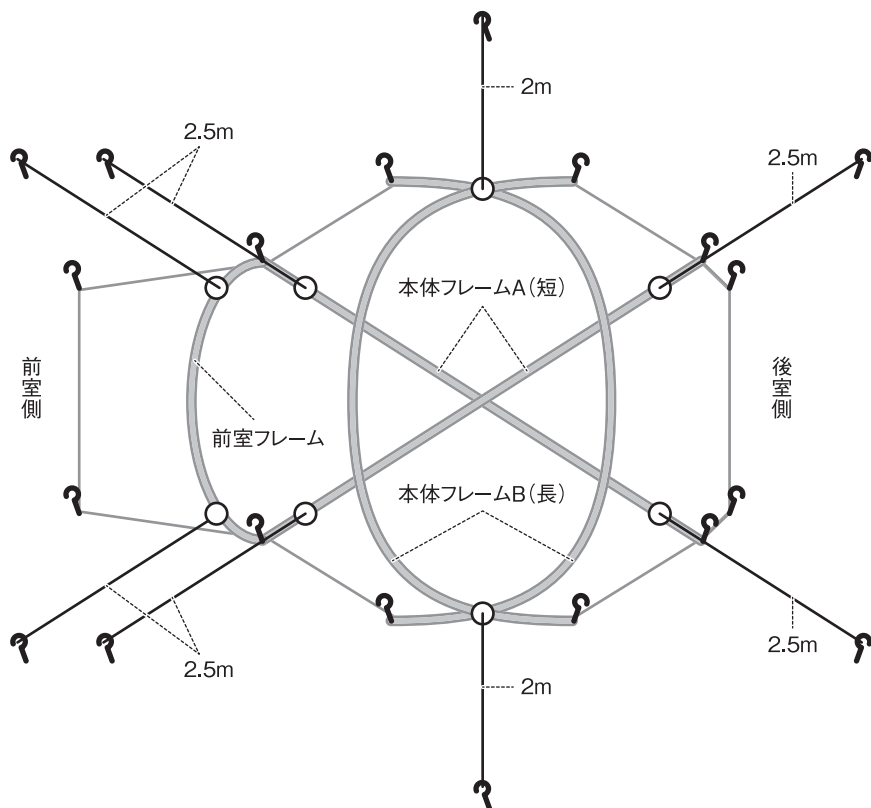
使用前の準備

● シームグリップ剤による目止め

縫製部分にはシームテープによる防水処理が施してありますが、ループやトグルを縫い留めている縫製部、ファスナーフラップを縫い留めている縫製ライン等は、製造の都合上または構造上、シームテープが施せない部分があります。通常の雨には十分対応できますが、長時間の大雨や横なぐりの雨、地面に雨水が溜まっているような状態では、縫い目から雨水が浸入することがありますので、必要に応じて縫い目にシームグリップ剤(目止め液)を塗布してください。シームグリップ剤は時間とともに硬化していきます。剥離した時は塗布しなおしてください。指定以外の場所から侵入した場合は、必要に応じて目止めを行ってください。

● 張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置

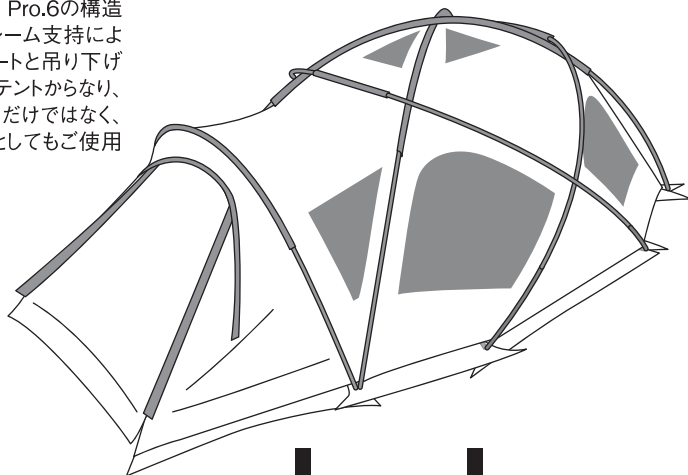
張網の固定、ペグダウンは下図のように行ってください。



設営の概略

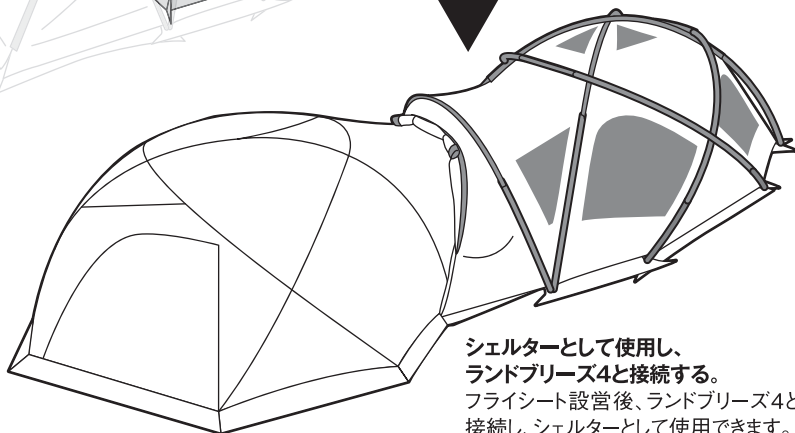
フライシートの設営

ドッグドーム Pro.6の構造はアウトフレーム支持によるフライシートと吊り下げ式インナーテントからなり、テントとしてだけでなく、シェルターとしてもご使用できます。



インナーテントを設置し、テントとして使用。

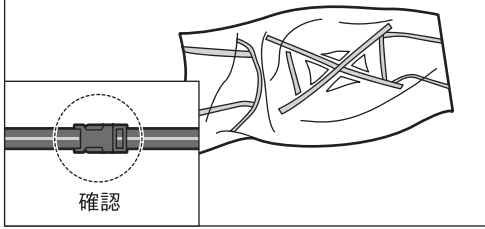
フライシート設営後、インナーテントを吊り下げて、テントとして使用できます。



シェルターとして使用し、ランドブリーズ4と接続する。フライシート設営後、ランドブリーズ4と接続し、シェルターとして使用できます。

フライシートの設営

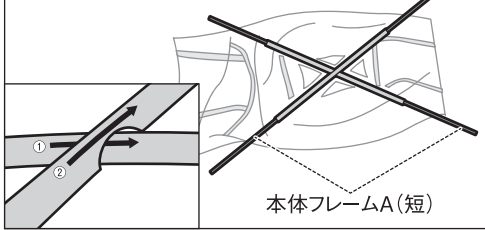
1



フライシートを広げます。

フライシートを広げます。このとき、ビルディングテープのバックル(4本)がきちんと留まっていることを確認してください。

2

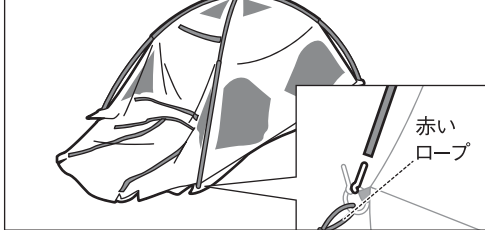


2本の本体フレームA(短)をスリーブへX状に差し込みます。

フレームは各ジョイントが確実に差し込まれていることを確認してください。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。

このとき、交点の下のスリーブから先に通すと作業がスムーズです。

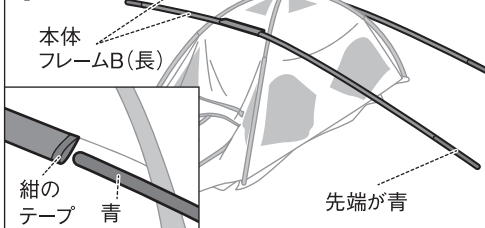
3



本体フレームA(短)をピンに差し込み、フライシートを立ち上げます。

本体フレームA(短)の先端をピンに差し込みます。フレームとピンの上に指を挟まないよう気をつけてください。

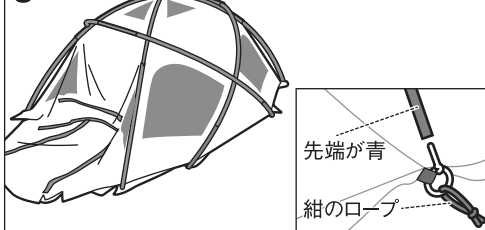
4



2本の本体フレームB(長)をスリーブへ差し込みます。

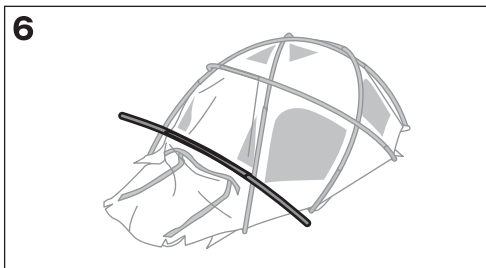
本体フレームB(長)をテント前後にあるスリーブへ差し込みます。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。

5

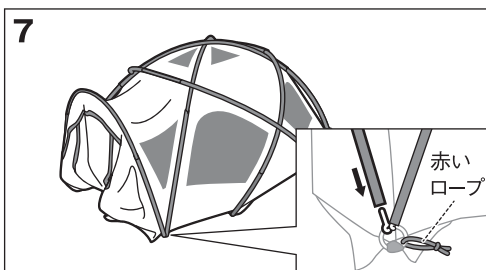


本体フレームB(長)をピンに差し込みます。

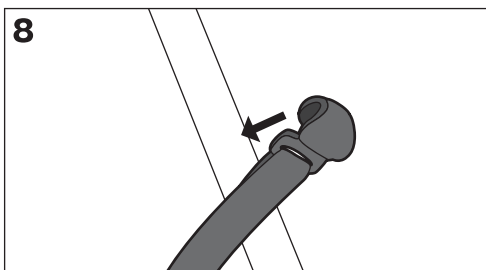
本体フレームB(長)が交差するようにピンに差し込みます。フレームとピンの上に指を挟まないよう気をつけてください。



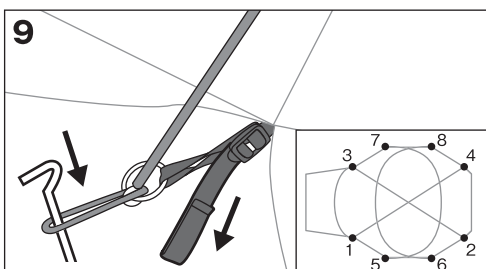
6 前室フレームをスリーブへ差し込みます。
前室フレームをテント前面にあるスリーブへ差し込みます。スリーブに差し込む際は、フレームを「押し入れて」ください。引っ張ると各ジョイントが抜けますのでお止めください。



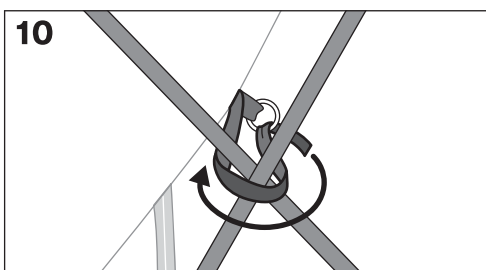
7 前室フレームをピンに差し込みます。
前室フレームをピンに差し込みます。フレームとピンの間に指を挟まないよう気をつけてください。



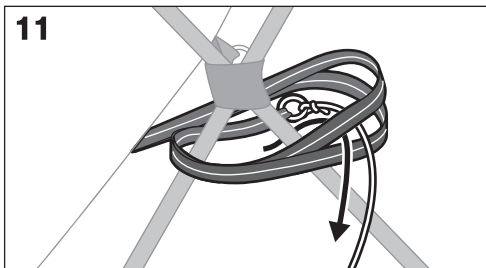
8 フライシートに付いているフックをフレームに掛けます。
フライシートに付いているフックをそれぞれ本体フレームにかけます。このとき、上の方から順にフックを掛けて行くと作業がスムーズです。



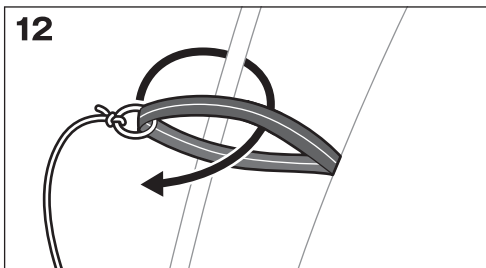
9 フレーム端点のコーナーをベグダウンします。
フレーム端点(8カ所)のロープをベグダウンします。ベグダウンの図の番号順に行ってください。また、ベグダウン後は調整ベルトを引いて締めてください。ベグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ベグダウンの位置」に従ってください。



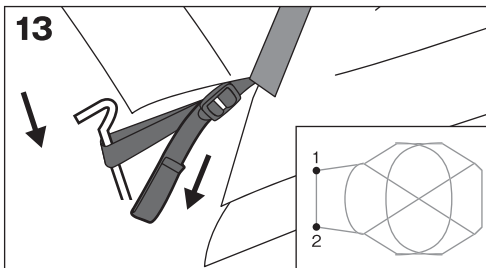
10 本体フレームB(長)の交点をベルクロで留めます。
本体フレームB(長)の交点をフライシートに付いているベルクロで留めます。このとき、2本のフレームを束ねるようにベルクロを通します。



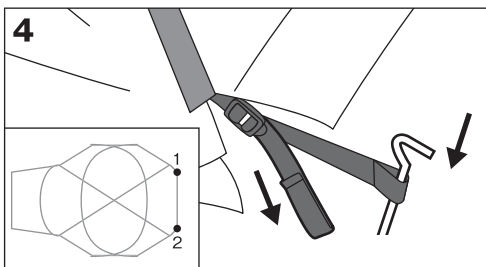
11 本体フレームB(長)の交点に張網用ループを巻き付け、ペグダウンします。
 本体フレームB(長)に、フライシートに付いている張網用ループを巻き付け、ロープをペグダウンします。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。



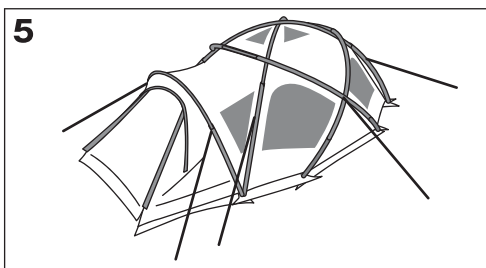
12 本体フレームA(短)に張網用ループを巻き付け、ペグダウンします。
 本体フレームA(短)に、フライシートに付いている張網用ループを巻き付け、ロープをペグダウンします。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。



13 前室のボトム部分をペグダウンします。
 前室のボトム部分にあるループをペグダウンし、調整ベルトを締めます。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。

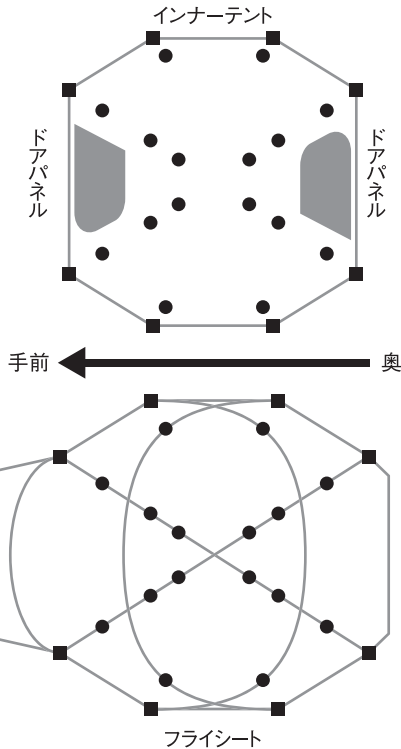


4 後室のボトム部分をペグダウンします。
 後室のボトム部分にあるループをペグダウンし、調整ベルトを締めます。ペグダウンの位置は3ページの「張網(自在付ロープ)、ペグダウンの位置」に従ってください。

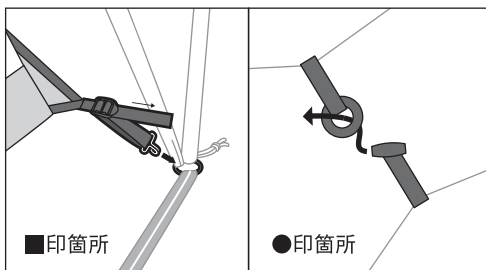


5 全体を調整して、フライシートの設営完成です。
 最後に全体を見て、調整ベルトの締め具合やロープの引き具合などを調整して、フライシート設営の完了です。

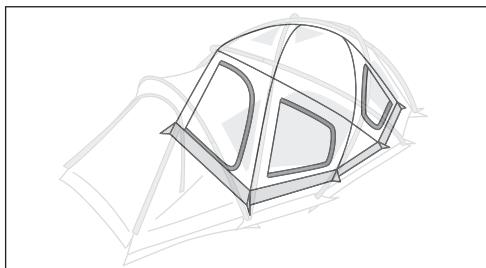
インナーテントの設置



インナーテントを広げ、
フライシートとの接続箇所を確認します。
インナーテントを広げ、フライシートとの接続箇所(■印、●印)を確認します。接続の順番は後室側を奥側として手前へ、順に行います。天井付近から接続して行くと、奥側の接続が困難になります。

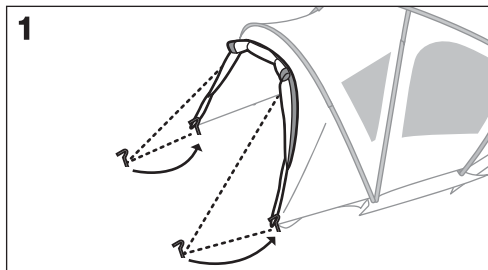


それぞれの接続箇所を留めます。
■印の箇所はフックをリングに掛けます。また、最後にベルトを締め、調整します。
●印の箇所はトグルで接続します。
接続の順番は奥側から手前へ、順に行います。天井部から接続して行くと、奥側の接続が困難になります。

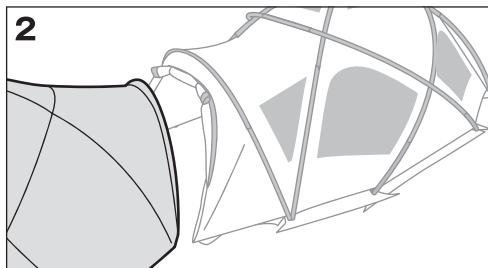


全体を調整して、インナーテント設置の完了です。
最後に全体を見て、調整ベルトの締め具合を調整して、インナーテント設置の完了です。

ランドブリーズ4との接続方法

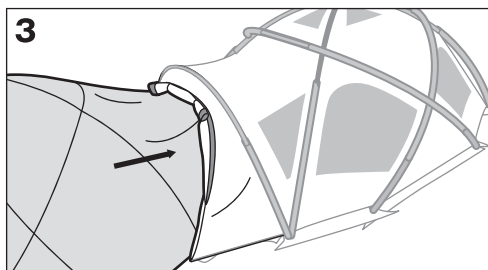


ドックドーム前室のペグダウン位置を変更し、巻き上げます。



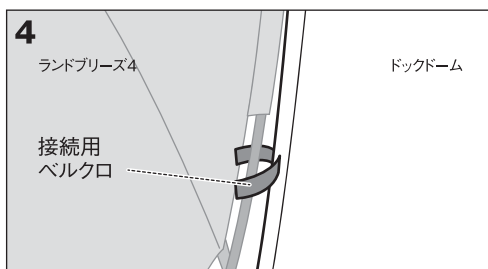
ランドブリーズ4を立ち上げた状態で準備します。

ランドブリーズ4を立ち上げた状態（ペグダウンはしません）で、前室部分を巻き上げ準備します。



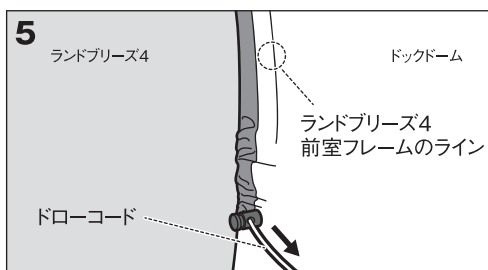
ランドブリーズ4の前室フレーム部をドックドームの前室へ入れます。

ランドブリーズ4の前室が入りにくい場合には「1」のペグダウン位置をより外側に修正してください。



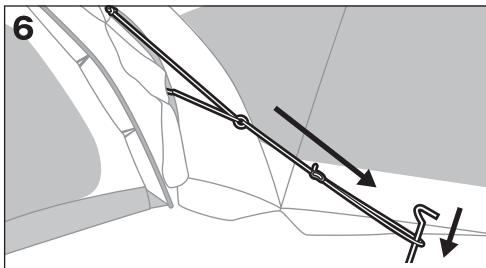
ドックドームの接続用ベルクロを留めます。

ドックドームに付いている接続用ベルクロをランドブリーズ4の前室フレームに留めます。

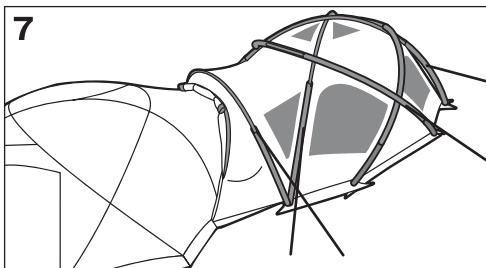


ドックドームのドロコードを引きます。

ドックドームに付いているドロコードを引き、調整します。ランドブリーズ4の前室フレームのラインが少し浮き出るくらいが目安です。

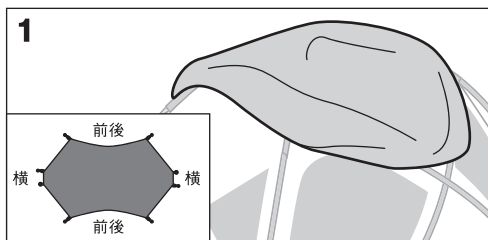


6 ドックドームの中に入り、ランドプリーズ4の
前室フレームを張網で固定します。
ドックドームの中に入り、ランドプリーズ4の前室に付いて
いる張網をペグダウンします。ペグダウンはドックドームの
内側です。

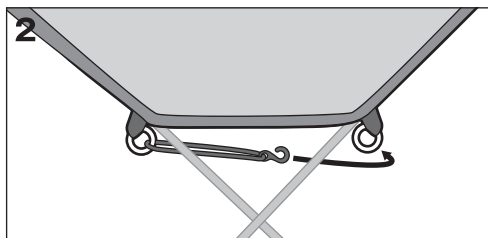


7 ランドプリーズ4をペグダウンし、
全体を調整して完成です。
ランドプリーズ4をペグダウンし、最後に全体を見て、調整
ベルトの締め具合やロープの引き具合などを調整して、
接続の完成です。

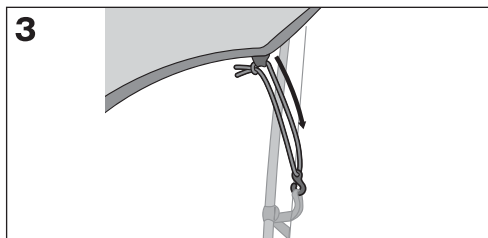
ルーフシートの取付 ※シールド加工は施してありません。



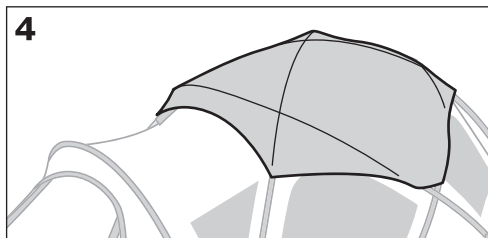
ルーフシートの向きを確認し、本体の上に掛けます。



ルーフシート横に付いているフックをリングに掛けます。このとき、ゴムを本体のフレームの下にくぐらせ、巻き込むように留めます。

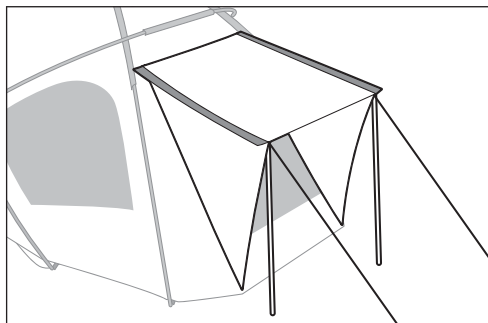


ルーフシート前後に付いているフックを、本体に付いているループに掛けます。このとき、本体のフレームをまたぐように掛けます。



全体の張り具合を確認して完成です。

その他の使用方法



後室パネルのハネ上げ

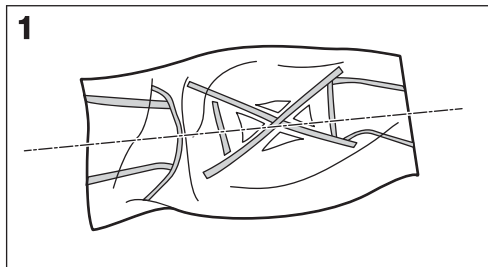
後室パネルは必要に応じてハネあげることが可能です。その際、長さが150cm程度のアップライトポール(別売)が必要です。

撤収について

撤収は設営と逆の手順で行いますが、インナーテントを取付けた場合は、必ずインナーテントをフライシートから取り外して収納してください。

収納方法

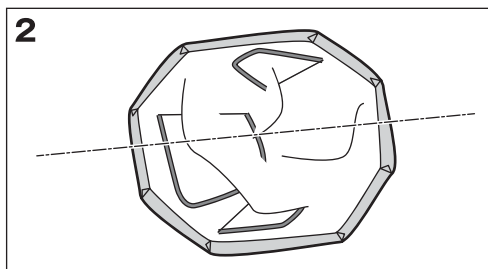
1



フレームを抜き、フライシートを広げます。

フライシートの中心線から室内側を内側に2つに折りたたみ、徐々にキャリーバッグに収まる長四角型にたたんでいきます。

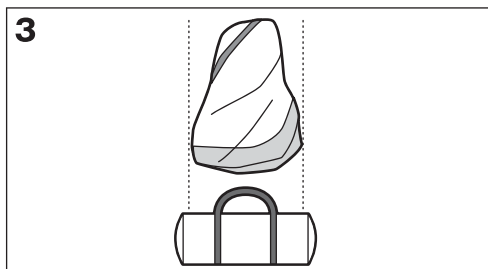
2



インナーテントも広げます。

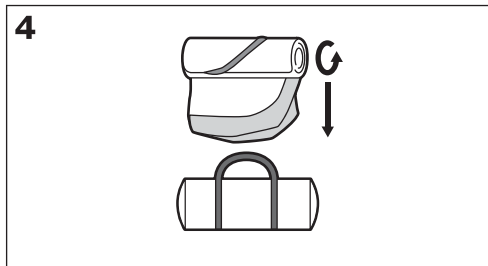
インナーテントの出入口ドアを中心とし、室内側を内側に2つに折りたたみ、徐々にキャリーバッグに収まる長四角型にたたんでいきます。

3



インナーテントとフライシートをそれぞれキャリーバッグの幅に合うまで折りたたみ、重ねます。

4



丸めて収納します。

空気を抜きながら丸め、キャリーバッグへ収納します。

結露について

空気中に含まれている水分が急激に冷やされて霧状になったものが結露として現れます。特に狭いテント等の空間では、通常の室内よりも水蒸気の濃度が高くなり、結露の発生する確率が高くなります。原因としては、人体構成要素の約60%を占める水分が、呼吸や汗などにより放出され、水蒸気となりテント内に結露が発生します。テント内では、特にフライシート・ボトム部分などの防水性能が高い部分に結露が発生しやすくなります。結露は優れた透湿防水素材でも使用状況により完全に防ぐことは不可能です。ご使用中は結露軽減のために適時換気を行ってください。

撥水・防水性能について


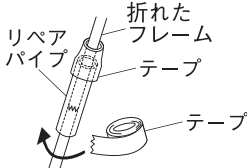
- 本製品はいずれの生地にも高性能の撥水加工を施していますが、生地の特性上、撥水性能(撥水の仕方や耐久性)に若干の差が見られる場合があります。また、ご使用を重ねますと撥水性能が低下する場合があります。性能が低下した場合は市販の撥水スプレー等を、それらの説明書をよくお読みの上ご使用ください。
- 防水性の高い生地を使用しておりますが、地面の水溜りなどへ長時間接触していると雨水が浸み込む場合があります。
- 農薬などでPUコーティングが破壊され耐水圧が異常低下してしまう場合があります。この症状と判断された場合、製品の保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 撥水剤の影響によりロゴマークが剥離する場合があります。

紫外線の影響について

- 本製品にはルーフの生地にもUVカット加工を施しています。UVカット加工は、人体にとって有害な紫外線の透過を抑えると共に、生地への強度劣化を緩和します。

※UVカット加工は、紫外線による人体への影響や、素材劣化を防止するものではありません。

メンテナンス・保管

- 本製品はポリエステル生地を組み合わせて使用しています。生地の特性を考慮し、できる限り色移りし難い加工と配色パターンを採用していますが、保管状態などにより、色移りが発生する場合があります。ご了承ください。また、濡れたままの保管は避けてください。
- 濡れたまま保管すると、カビや悪臭、生地の色移り、生地の劣化などのトラブルの原因になりますので、使用後は風通しの良い日陰で十分に乾燥し、柔らかいブラシなどで泥汚れを落としてから保管してください。
- フレームを通した状態のまま逆さまにしないでください。フレーム折損や生地損傷の原因になります。
- フレームは表面の汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。濡れたまま保管すると腐食、強度が低下します。ジョイント部分は常に清潔にし、少量のシリコン系潤滑剤を薄く塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。また、フレーム内部のショックコードは不必要に引っ張らないでください。
- フレームを収納する際は、中央を意識しながら折り畳んでください。
- 高温多湿を避け、直射日光の当たらない風通しのよい場所に保管してください。
- ファスナーに泥や砂、ホコリなどが付着したまま使用すると摩耗し破損の原因になりますので、ブラシなどを常に清潔にしてください。また、スライダーの動きを滑らかにするために、少量のシリコン系樹脂剤を定期的に塗布してください。塗布し過ぎると生地に油ジミができますのでご注意ください。
- 小さな生地の破損は市販のリペアテープで補修できます。補修の際はリペアテープの説明書をよくお読みください。
- ご使用により広範囲にわたり素材が劣化し、耐久度合を超えたものは修理できない場合があります。
- 次回の使用に備え、張り綱などの付属品も含め、十分に保守、点検をしてください。
- シームテープはPUコーティングが痛まない程度の温度設定で圧着されていますが、使用を重ねるにしたがい剥離してしまう場合があります。剥離が確認された場合は、アイロンを低温に設定し、剥離箇所のみを再度圧着してください。熱を掛け過ぎた場合生地が変色したり劣化が促進されますのでご注意ください。シームテープは無理やり剥離させないでください。PUコーティングが一緒に剥離された場合、修理できなくなる可能性があります。
- 樹液が付着してしまうときれいに除去することはできません。樹液が垂れそうな木の下を避けて設営してください。溶剤などにより無理に除去すると生地やコーティングを傷めます。
- 使用する際にフレームが折れてしまった場合は、応急処置として速やかに付属のリペアパイプや添え木をあて、ビニールテープなどで固定するか、撤収をしてください。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
2. 素材の経年劣化による製品の寿命。
3. 改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
4. 不測の事故による製品の故障。
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
6. ゴミやサビによる故障。
7. 分解したことによる不具合の発生または破損。
8. 落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
9. 消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
10. 他社製品との組合せによる故障。

修理について

- 本格的な修理が必要な場合は、お買い求めになった販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 修理を依頼される場合は、必ず十分に乾燥させ、汚れをきれいに落としてください。
- 修理品には修理箇所がはっきりと解るように、必ずメモまたは荷札を付けてください。また破損時の状況をできるだけ詳しく書いたメモを添えてください。
- 修理品の運賃並びに修理費については以下のように規定させていただきます。
 - 1.保証対象の場合：往復運賃並びに修理費は弊社にて負担いたします。
 - 2.保証対象以外の場合：往復運賃並びに修理費は、お客様のご負担とさせていただきます。

スペック

●セット内容: テント本体、ルーフシート、本体フレーム(×4)、前室フレーム(×1)、ジュラピンペグ(17cm×20)、自在付ロープ(2.5m×6、2.0m×2)、シームグリップ剤、リペアパイプ、キャリーバッグ、フレームケース、ペグケース、取扱説明書

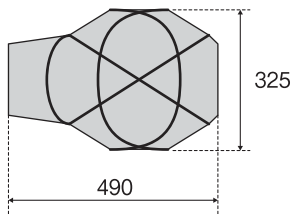
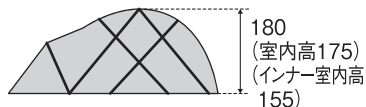
●材質: フライシート・ルーフシート/75Dポリエステルタフタ・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム・テフロン撥水加工・UVカット加工、インナーウォール/75Dポリエステルリップストップ、ボトム/300Dポリエステルオックス・PUコーティング耐水圧1,800mmミニマム、フレーム/ジュラルミンA7001(φ11mm)

●キャリーバッグサイズ: W70×D32×H28mm

●重量: 13.5kg


●カラー: アイボリー

単位はcm



不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

 0120-010-660 (9:00~17:00)

E-mail: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456
tel:0256-46-5858 fax:0256-46-5860
www.snowpeak.co.jp

MADE IN CHINA